



“みなとオアシス”に登録された牛深港と周辺のまち並み

6 環境と共生のまちづくり

また、本市の海の玄関口である本渡港、牛深港の活性化を旨とした「みなとまちづくり」については、これまでも、地域住民の方々とともに基本構想の策定を進めてまいりましたが、昨年11月には牛深港を核とした「みなとオアシス 天草牛深」の登録を受けることができました。今後は、これらの成果をもとに、両港を核とした地域

地球温暖化などをはじめとするさまざまな環境問題は、その対応を誤ると私たち人類の破滅にもつながりかねない重大な問題でございます。市民生活や経済活動がおよぼす地球環境などへの負荷を最小限にするためには、廃棄物の削減と積極的な再利用の推進、限りある資源や再生可能エネルギーの有効活用など、環境負荷からの脱却に主眼を置いた循環型社会への転換が求められております。

まず、老朽化が進んでおります本渡衛生センター、牛深し尿処理場の更新施設として、し尿・浄化槽汚泥・生ごみを再生処理いたします、仮称「バイオマスセンター」の建設につきましては、事業の具体化に向け、関係各位のご理解を得ながら取り組んでまいります。ごみの減量やリサイクルなどの資源化につきましては、平成25年度までにごみ排出量の8%削減、資源化率30%を旨とし、排出抑制、分別徹底への意識高揚を図ってまいります。

また、昨年10月からスタートし



“マイバッグ運動”のPR活動を行うようす

住民による取り組みへの支援を行うとともに、管理者である熊本県へ整備計画などの提言を行ってまいります。

天草エアラインにつきましては、福岡等との都市圏をつなぐ空の架け橋として、本市の地域振興や観光振興などにはなくてはならない公共交通機関でありますので、今後とも、県と地元自治体で協調しながら支援を行ってまいります。

情報化の推進につきましては、これまでに整備した公共施設の光ファイバネットワークや電算システムの構築により、住民サービスの向上や各種地域情報の発信および行政事務の効率化が図られております。また、民間通信事業者への貸し出しによる放送・通信面での地域格差是正に、一定の効果があがっているものと考えております。今後は、これらの安定的な運用を図るとともに、市民の安心・安全に直結した観点から医療分野でのネットワークの活用、防災・教育・福祉などの情報化に取り組んでまいりたいと考えております。

また、地域振興・観光・産業分野における情報発信などについて

ましたレジ袋削減・マイバッグ運動の推進につきましては、天草市レジ袋削減推進協議会と連携しながら、参加事業所の拡大や市民の皆様への啓発に取り組んでまいります。

さらに、自然環境保全対策として、海岸漂着ごみの清掃ボランティア団体等への支援、不法投棄防止啓発による海や川などの自然環境と景観保全へ継続的に取り

も、民間運営を含めた活用を図ってまいります。

ゴルフ場予定地跡の利活用につきましては、自然の大切さを学ぶ、体験する場としての環境整備、自然と共生した新たな産業を育成する場としての、九電工のオリーブパイロット事業の支援、地域の自然を守るための大切な資産として、保安林制度による管理を行うという土地利用の方向性を策定したところがあります。今後、これに沿った利活用策を進めてまいります。また、当地には仮登記地が存在しておりますので、適切に管理していくため、その解消に向けた業務推進体制の整備などを行い、しっかりと取り組んでまいります。

新庁舎の建設につきましては、平成23年度において、本庁舎建設検討委員会で議論をいたただけており、最終的な提言書の作成がなされていくところでございます。その提言内容をふまえ、同24年度におきまして、新たな庁舎に盛り込むべき機能や整備方針などを定めた基本計画(案)を、市民の皆様や議会のご意見をいただきながら成案化することとしております。

なお、現在、国会において、合併特例債の期限延長が審議中であ

組んでまいります。

また、景観からの島づくりの環境として、「天草宝島花咲プロジェクト」を推進いたします。花づくり実演会や花苗などの配布など、これまで取り組んできた「花いっぱい運動」を継続し、潤いのあるまちづくりを推進します。そして、天草市の「花の名所」の整備をすすめる、花のイベントや花の見ごろを網羅した「花咲カレンダー」などを作成し、天草の情報発信につなげてまいりたいと考えております。

次に、新エネルギーの利活用推

進では、住宅用太陽光発電システムの導入につきまして、国の補助制度の動向を踏まえながら、引き続き普及推進に取り組んでまいります。また、公共施設等への太陽光発電の導入促進や大規模太陽光発電につきましては、適地紹介を行うなど、積極的に再生可能エネルギーについて取り組んでまいります。

りますが、将来の市の財政負担を考えますと、本庁舎建設において、合併特例債の活用が不可欠であります。仮に、期間延長がなされない場合は、工程や工期などを勘案しますと、早期に基本計画を策定し、基本設計・実施設計の予算化につきましては、議会のご理解を得ながら、同24年度中に補正予算でご提案させていただきたいと考えております。

- みなとまちづくり推進事業（天草市の玄関口である本渡港と南の玄関口である牛深港において、港を核にしたまちづくりについて検討し、港周辺の活性化を図る）……………390万円
- 天草市庁舎建設事業（本庁舎の建設に向けて、候補地等の地質調査などを行う）……………451万円
- 市道改良（単独）事業（大規模、小規模、災害防除の単独工事）……………3億5,000万円
- 道路改良（交付金）事業（幅員の狭さなどから通行に支障をきたしている市道を、社会資本整備総合交付金を活用して整備する）……………1億6,900万円

- 汚泥再生処理センター（バイオマスセンター）整備事業（汚泥再生処理センター（バイオマスセンター）建設のための地形・用地測量や地質・環境調査、造成基本設計を行う）……………4,100万円
- 天草花咲プロジェクト事業（花咲プロジェクトを推進するため、花によるまちづくり実演会やコンクールの開催、花苗の配布などを行う）……………535万円
- はまぼう群生地整備事業（市の花に指定された「はまぼう」の群生地周辺を整備する）……………2,000万円
- 住宅用太陽光発電システム設置費補助金（住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を助成する）……………7,600万円

最後になります。全国的に人口減少が進む中、都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地域の特性を生かした役割分担やお互いの連携・協力による取り組みを推進し、だれもが安心して暮らすことができる魅力あふれる地域を形成していくため、定住自立圏構想に取り組んでまいります。